

「エコ・ハウスたかねざわ」学習プログラム		分野	植物と暮らし	プログラム No	自然 3
対象	小学2年生以上	場所	野外及び室内	期間	春から秋まで
プログラム名	落花生を育てる・落花生を調理する				
<p><プログラムの目的>(学習のねらい)</p> <p>○落花生を種から育てることにより、植物の成長に関心が高める。(低学年)</p> <p>○実の成る植物育てるための知識を得ることで、食品の生産の大切さ大変さを知ることになる。(中・高学年)</p> <p>○落花生から何ができるかを調べ体験することにより、植物と生活の関係を知る。(中・高学年)</p> <p>落花生(ピーナッツ)はみんなおいしく食べていますが、落花生を植物と思って見たことがありますか。その芽や花や葉を知っていますか。実はとてもかわいい黄色い花が咲くのです。ではどんな風に実るのか分かりますか。枝にぶら下がるのではなく、土の中にできるのです。それだけで、とても興味深い植物なのです。</p> <p>どんな食品にもできるまでの過程があり、その過程を知ることによって、物ができあがることの大変さ、よりおいしく食べるための工夫など、あたりまえのようにお店に売っているものが、どれだけの手間や知恵に支えられて作られているのかを、ぜひ知ってください。</p> <p>落花生は熱帯から温帯にかけて、世界中の広い地域で栽培されています。そのため食べ方や料理も様々ありますから、子供たちと話し合いながら、調理されると良いのではないのでしょうか。</p>					

おすすめ方 その1. 落花生を育てる

対象: 全学年

1. 落花生の種をまく

- 落花生の種は殻(サヤといいます)の中にある豆のことです。豆はうす皮が取れていたり、キズついたり、割れていないものを用意します。
- 本来は砂地が良いのですが、水はけの良い場所を選びます。
- マメを育てるには石灰が必要ですので、消石灰か苦土石灰を1平方あたり60～100グラムほど土に混ぜ込みます。
- 完熟した堆肥も少し混ぜます。
- 落花生は気温が暖かくなる5月中旬(15度以上)になってから蒔いてください。
- 種を蒔くには1カ所に2センチ位はなして2～3つ蒔きます。育っていきますと大きく広がりますので、種と種の間は、30センチほど開けます。うねの間も70センチ程度開けておきます。
- 落花生はプランターでもできますので、ためしてください。

2. 落花生を育てる

- 7～10日ほどで発芽します。でも、カラスやハトなどが好物ですので、せっかくの芽をたべられないように、紡鳥ネットや、糸を這わせて防いでください。



○まわりに草が生えないように、「マルチ栽培」という、うすいプラスチックシートを畑にかぶせる方法もあります。マルチは手間がかかりますが、発芽も早くなるし、株の育ちも良くなります。

○双葉がでて、本葉がひらいたら、しっかりした芽を残して、あとはそっと根を取って、植えかえるか、根元から切って間引きします。



3. 花が咲きました。

○芽が育つと、大きな緑の固まりになります。するとかわいい黄色の花が咲きますが、花は早朝に咲いてお昼頃にはしぼんでしまいます。

○図鑑などで、他の豆科の植物の花と比べてみます。



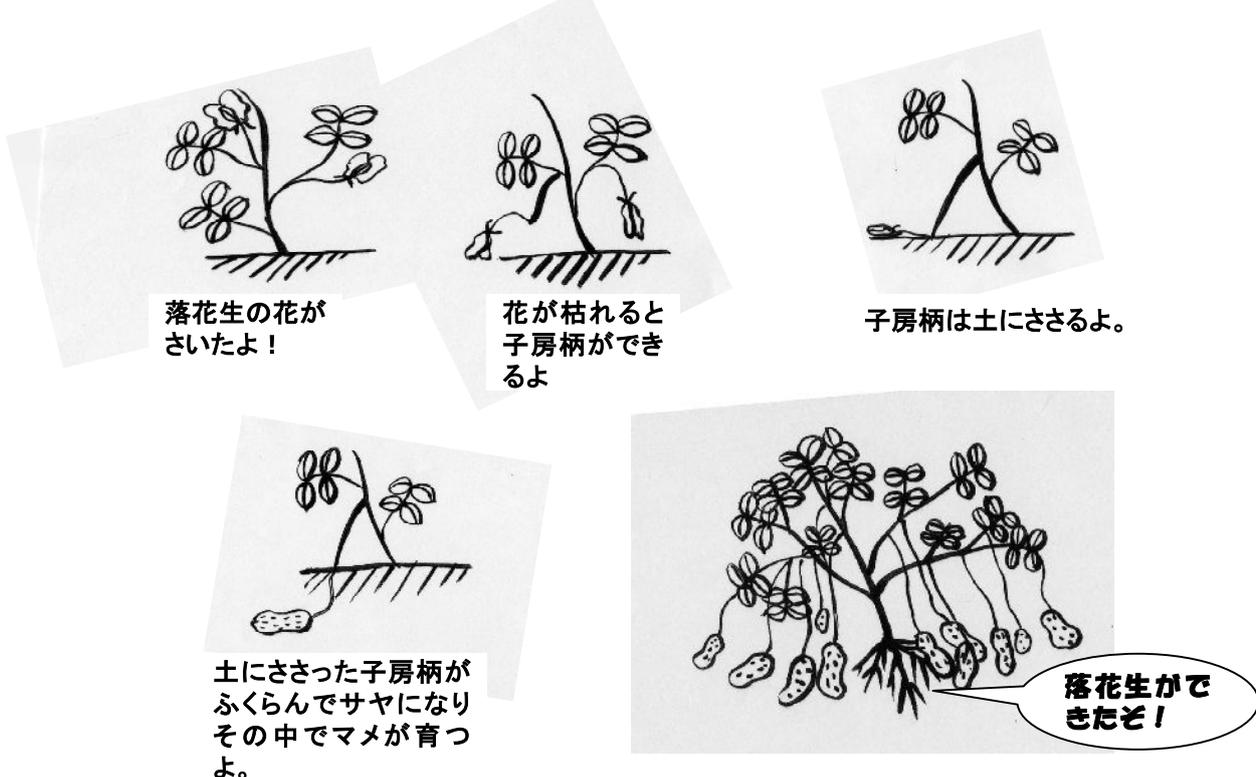
4. 落花生の不思議。

○花が枯れ出すと、不思議な育ち方をします。株の本体と花がついている間が伸びだして、根のようになります。

○これは子房柄といい、どんどん土に向かっていき、やがて土にささります。

○土にささった子房柄は、土の中3~5センチのところできらみはじまります。

○この状態の時に、1本抜いて観察してみてください。



落花生の花が
さいたよ！

花が枯れると
子房柄ができ
るよ

子房柄は土にささるよ。

土にささった子房柄が
ふくらんでサヤになり
その中でマメが育つ
よ。

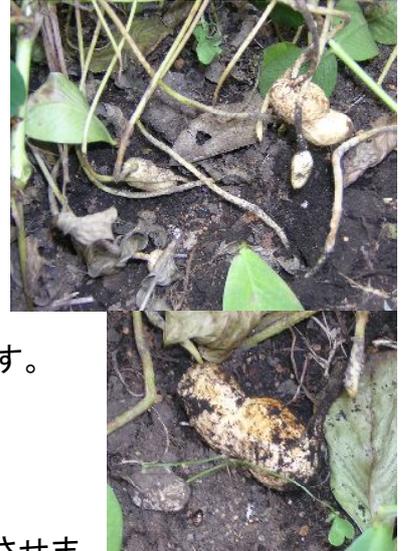
落花生がで
きたぞ！

* 参考:「ラッカセイの絵本」より

5. 落花生ができました。

○土にささってから70～80日位で落花生になります。もし、茹でて食べるなら、ややサヤがやわらかい時期に取り出して塩茹でにすると良いでしょう。

○普通の落花生にしたいなら、サヤに編目もようがはっきりしたら収穫時期です。花が咲いた順に実になるので、大きさなどはばらばらですが、全部が大きくなりまで待っていると、始めに育った実の方がおいしくなくなるので、ここだと思ったらぬいています。



6. 乾燥が大切です。

○収穫した落花生は、そっと土を落としそのまま1週間ほど乾燥させます。そのあとサヤを取ってから、新聞紙などの上広げて乾燥させます。ゆっくりと時間をかけて乾燥させてください。

○取れた落花生から、来年用の種をとっておくには、サヤごと紙袋に入れ、すずしく乾燥した場所に置き、蒔く直前にサヤをむいてください。



【工夫・留意点】

- 乾燥が好きな落花生ですが、さすがに夏は土が乾いたら水をあげてください。
- 丈夫な落花生ですが、たまに葉や根に病気や虫がつかます。何より水はけが大切ですので、畑に雨水が溜まらないようにミゾをつくって流してください。
- プランターでも育てられますが、大きくなると横に広がりますのでできるだけ横に大きな(プランターを用意してください。

【参考 等】

- * 参考資料:「ラッカセイの絵本」(農文協)
- * 高根沢でも落花生を育てている方もいますし、エコ・ハウスでも育てました。何か分からない事などがありましたら、ご相談ください。
- * エコ・ハウス産の落花生の種をお分けいたします。

所要時間:40分～ 実施時期:収穫後(乾燥後)

キーワード:自然の恵み・調理

■ピーナッツクッキー

1. 準備するもの



ピーナッツ(生)	100g
小麦粉	200g
卵	1ケ
バター	60g
砂糖	60g
ベーキングパウダー	小1

2. 作り方



①バターをクリーム状にして砂糖を加えて混ぜます



②ピーナッツをポリ袋に入れてめんぼうで碎きます



③とき卵を少しずつ加えて混ぜます



④碎いたピーナッツを加えて混ぜます



⑤粉をふるいにかけてながらサクサク混ぜます



⑥クッキーの形にします(平たくしたほうが火の通りがよい)



⑦オーブン皿に並べます



⑧200℃のオーブンに入れて15分やきます



⑨できあがり!